



縄文の塩づくり① ～製塩土器づくり～

6月21日(日)、毎年恒例の大人気イベント『縄文の塩づくり』第1回目の製塩土器づくりを実施し、32名の参加者さんが集まりました。今年は土器づくり初体験の方も多かったのですが、どのような作品が出来上がったのでしょうか…。一方、縄文式の塩の味に魅せられたリピーターさんからは並々ならぬ塩づくりへの意気込みが感じられました。



限られた場所でしか作られなかった縄文の塩

最初に学芸員から縄文時代の塩づくりについて説明。典型的な縄文土器には文様がありますが、製塩土器には文様がなく、薄く作られているのが特徴です。

塩づくりは縄文時代の終わり頃の4つの地域（青森県・松島湾・福島県浜通り・霞ヶ浦周辺）でしか行われていなかったと考えられています。松島湾沿岸では数多くの製塩遺跡が見つかっており、つくられた塩は宮城の内陸地や遠く山形にまで運ばれました。



製塩土器



縄文土器



難しいけど、塩のために土器を量産！

講座終了後はさっそく製塩土器づくり。まずは底をつくったら、粘土ひもを重ねて土器を形づくりします。これが意外と難しく、高さを出したくても積み上げるうちに口が開いてしまったり、思った以上に厚くなってしまったり。簡素な見た目とは裏腹に縄文人の超絶技術が詰まっているんです！ただ、縄文人には及ばなくてもとにかく数をつくるのが一番のコツ（笑）。1つめの土器には苦労した方が多かった印象ですが、徐々にコツをつかんだようで2つ、3つと順調に量産していました。本番の塩づくりでどれだけ塩がとれるか期待ですね！



▲塩のために家族総出で次々と製塩土器を量産中。

おいでよ、縄文村へ！
8/8(土)～11(火)

受付時間：9:30～14:30
(※8/11は10:00～14:30)

日替わりメニュー

毎日できる縄文体験！

勾玉づくり



¥400

火おこし



¥150

シカ角ストラップ



¥400

8/8



¥150

木簡にセタの
お願いを書こう！

8/9



¥150

Kawaii
ミニ土偶・土版

8/10



¥300

貝の不思議

8/11

入館&体験
無料Day

こんな使い方も
できちゃう！



facebook



Instagram



HP



カラムシ
ストラップ

☆New!